

第2章

子どもたちが笑顔にあふれ 活力と郷土愛に満ちた宮古^{みや〜く}

1

子どもたちの「生きる力」をはぐくむ 学校教育の推進



■ 現状と課題

- ▶ 社会環境の変化に合わせ、子どもたち一人ひとりの学びや育ちの過程に対しても新たな取り組みが求められています。今後は幼児期からの一貫した教育やGIGA スクール構想の推進による個別最適な学びと協働的な学びの推進を図り、授業改善に取り組む必要があります。
- ▶ 多様性を認め、自他を尊重し自己肯定感を高めるため、考え議論する道徳教育の質的改善が求められています。今後は道徳を要とした体験的な学習により、多様な価値観を持つ心豊かな子どもの育成に取り組む必要があります。
- ▶ 子どもたちが心身共に健康で豊かな生活を育むためには、学校と家庭、地域が連携し基本的な生活習慣の確立に向けた指導の充実が求められています。今後は幼児期からの運動習慣の基盤づくりや生涯にわたって心身の健康を保持増進していくための資質・能力を育成する必要があります。
- ▶ 本市は少子高齢化や地域の過疎化により、地域の発展を担う人材を育成することが求められています。今後は、学校と地域が連携と協働により「社会に開かれた教育課程」を実現する必要があります。
- ▶ 本市においては、様々な困難を抱える子どもや特別な支援を必要とする児童生徒が増加傾向にあります。今後は早期からの見取りと切れ目のない支援とともに多様な学びの場の提供やインクルーシブ教育を推進する必要があります。
- ▶ グローバル化が進展する中、今後も国際理解教育を推進し多様な価値観を持つ子どもの育成が必要です。

用語解説

GIGAスクール構想 1人あたり1台のパソコン端末使用など、子ども達を誰ひとり取り残すことなく、個々の資質・能力を一層確実に育成できる教育 ICT 環境を実現する構想

インクルーシブ教育 人間の多様性を尊重し、障がいがある者と障がいがない者が共に学ぶ仕組み

保幼小 保育園、幼稚園、こども園、小学校を併せた略称



■ 施策の基本方針 1

確かな学力の向上を推進します。

●目標項目●

児童・生徒の学力向上
学力・学習状況調査における全国との比較(粘り強さ:市/全国)

令和3年度※

小学校 73.5pt
中学校 56.8pt

※コロナの影響から令和2年度に調査未実施
であるため令和3年度数値で設定



令和8年度

全国水準

参考 [小学校 80.6pt
中学校 65.8pt]

※上記は令和3年度数値

●施策一覧●

- ① 学校・地域の特色を活かした魅力ある学校づくりによる幼児児童生徒の資質能力の育成
- ② 保幼小協働でのカリキュラム作成によるスムーズな保幼小接続及び幼児教育の推進
- ③ 児童生徒の情報活用能力の向上をめざしたG I G Aスクール構想の推進
- ④ 主体的、対話的で深い学びに向けた授業改善

■ 施策の基本方針 2



豊かな心を育む教育を推進します。

●目標項目●

学級集団づくり質問調査による要支援群の出現率

令和2年度

—



令和8年度

10%以下

●施策一覧●

- ① 豊かな心を育む道德教育の推進
- ② 多様な価値観を持つ子どもの育成



■ 施策の基本方針 3

健やかな体の育成を図る教育を推進します。

● 目標項目 ●

体育の授業以外で運動に親しむ 1 校 1 運動の実施率

令和2年度

小学校 87%
中学校 72%



令和8年度

小学校 100%
中学校 100%

● 施策一覧 ●

- ① 日常的に運動に親しむ習慣・環境作りの推進
- ② 学校や家庭、地域の連携による生活習慣の確立
- ③ 保健・安全教育の充実



■ 施策の基本方針 4

地域と共にある学校づくりを推進します。

● 目標項目 ●

学校運営協議会の設置割合

令和2年度

—



令和8年度

100%

● 施策一覧 ●

- ① 地域とともにある学校づくりを目指した、コミュニティスクール(学校運営協議会制度)の導入
- ② 家庭、地域と連携・協働したキャリア教育の推進

用語解説

コミュニティスクール (学校運営協議会制度) 保護者や地域住民等が積極的に参画することによって、学校と地域が力を合わせて学校運営に取り組む仕組み

■ 施策の基本方針 5



共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育を推進します。

● 目標項目 ●

個別支援計画の作成校割合

令和2年度

—



令和8年度

100%

● 施策一覧 ●

- ① 特別支援教育の連続性のある指導の充実
- ② 適切な学びの場の決定に向けた就学支援の充実
- ③ 子どもの多様なニーズ(困り感等)に応じた指導の充実

■ 施策の基本方針 6



グローバル社会で活躍する人材を育成するため、子どもたちによる国内外との交流を推進します。

● 目標項目 ●

海外ホームステイ参加者満足度

令和2年度

—



令和8年度

80%以上

● 施策一覧 ●

- ① 児童・生徒の海外派遣によるグローバル社会で活躍できる感性と教養の育成・推進

■ 現状と課題 2

▶本市の小中学校では、少子化の進行により児童生徒数が減少していることから、学校統廃合による学校規模適正化を進めていますが、学校統廃合においては、新たな統合による児童生徒数の推移や地域の実情に応じた課題を整理する必要があります。今後はこれまでに統合した学校の状況を調査し、学校規模適正化の基本方針を踏まえながら、老朽化の進んでいる学校施設の改修など、学校施設の長寿命化計画及び長期整備計画に基づいた年次整備に取り組むことが必要です。

宮古島市の小中学校の児童生徒数



教育の日



ICT を活用した授業



■ 施策の基本方針

学校規模適正化基本方針及び学校施設の長期整備計画を基に教育環境整備の充実に努めるとともに、閉校した学校跡地の有効且つ適正な利活用を図ります。

●目標項目●

閉校となった学校の跡地利用の推進及び
各学校施設の長寿命化の推進

令和2年度

0校



令和8年度

小学校5校(5棟)
中学校4校(5棟)

※各学校施設の長寿命化の目標値

●施策一覧●

- ①教育施設における長寿命化計画の推進
- ②閉校した学校施設の有効的利活用の推進
- ③閉校学校跡地ごとの個別計画の策定



城東中学校開校

2

みんなで学ぶ 生涯学習・生涯スポーツの充実



2-1 生涯学習の充実

■ 現状と課題

▶市民の学習ニーズが多様化する中、これまで以上に学習できる機会を創出することが求められています。今後も「未来創造センター」を中心として、学習機会の拡充に努めるなど市民の多様な学習ニーズを満たす取り組みが必要です。

また、市民の自発的な学習活動を支援するため、地域人材の発掘・育成を図る必要があります。

各公民館の利用者数



用語解説

無線LAN (Wi-Fi) パソコンやテレビ、スマートフォンなどのネットワーク接続に対応した機器を、無線で接続する技術

■ 施策の基本方針

「いつでも、どこでも、だれでも」学習できる機会を創出し、市民の多様な学習ニーズを満たす取り組みを推進します。

●目標項目●

公民館利用者数（年間）

令和元年度※

122,792人



令和8年度

140,000人

※新型コロナウイルスの影響により
令和元年度で設定

●施策一覧●

- ①各種講座などの学習情報の周知による学習機会の充実
- ②生涯学習の普及・啓発による市民の学習成果発表の場の提供
- ③市民の自主的な学習支援に向けた地域の人材発掘や市民への周知
- ④社会教育団体の研修会開催等の支援による指導者の資質向上と活動促進
- ⑤各公民館への無線LAN (Wi-Fi) 設置等による施設の充実



生涯学習フェスティバル

■ 現状と課題 2

▶本市では図書館サービスの拡充に向けインターネットサービスを導入しておりますが、利用者が少ない現状にあります。今後はすべての市民が利用しやすい多様な図書館サービスや市民のニーズに対応した図書資料の充実、イベントの実施により利用者拡大に努める必要があります。



移動図書館

用語解説

SNS ソーシャルネットワーキングサービスの略で、インターネット上の交流を通じて社会的ネットワークを構築するサービス。Facebook（フェイスブック）やLINE（ライン）などが代表的

■ 施策の基本方針

子どもから高齢者まで誰でも気軽に利用できる生涯学習や地域の課題解決に役立つ「くらし・憩い・出会いの図書館」を目指します。

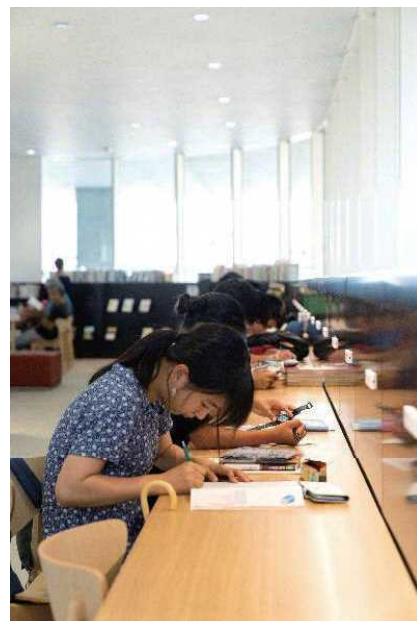
●目標項目●

図書館入館者数（年間）



●施策一覧●

- ①すべての市民が利用できる多様な図書館サービスの推進
- ②市ホームページやSNSの活用による図書館資料や利用等の情報発信
- ③市民ニーズに対応した図書資料の充実
- ④利用者拡大に向けた、図書館に親しむイベントの実施
- ⑤学校図書館との連携強化や家庭・地域での読み聞かせサポートによる子どもの読書活動の推進
- ⑥遊具等の充実及び花や緑に囲まれた図書館環境づくり

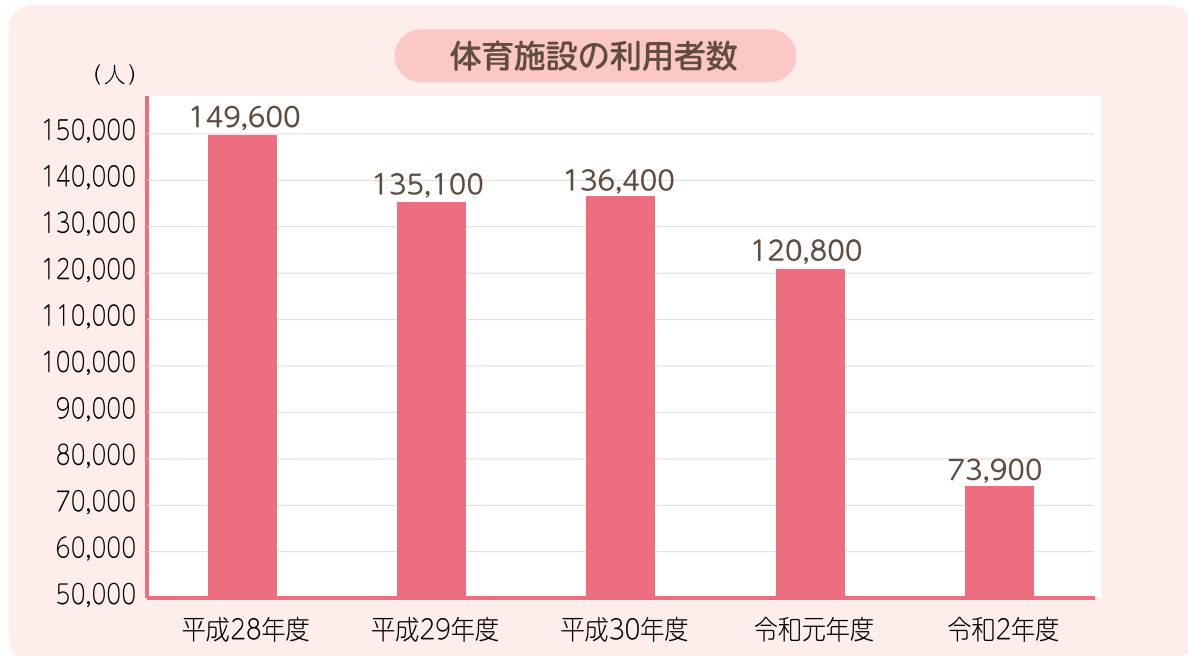


図書館の利用風景

2-2 生涯スポーツの充実

■ 現状と課題

▶スポーツは、地域の一体感や活力の醸成、心身の健康の保持・増進などの役割を果たすとされており、本市においても継続したスポーツ振興が必要となっています。今後も市民ニーズに沿った各種スポーツ教室の開催やスポーツ施設の計画的かつ効率的な整備を推進し、市民がスポーツに取り組める環境づくりが必要です。



かけっこ教室



ソフトバレーボール大会

用語解説

軽スポーツ 他のスポーツに比べて比較的負荷のかからないスポーツ。ソフトバレーボール、グラウンドゴルフなど



■ 施策の基本方針

誰もがスポーツに親しめる環境づくりを推進するとともに、競技者の拡大や競技力の向上を図り、多様な価値の創出に努めます。

●目標項目●

体育施設利用者数（年間）

令和元年度※

120,800人

※新型コロナウイルスの影響により
令和元年度で設定



令和8年度

200,000人

●施策一覧●

- ①個人の体力や年齢に応じて気軽に実践できる軽スポーツの普及
- ②各種スポーツ団体の活動支援による、競技者の拡大と競技力の向上
- ③スポーツ施設の計画的・効率的な整備及び有効活用



軽スポーツ（キンボール）



生涯学習フェスティバルの様子

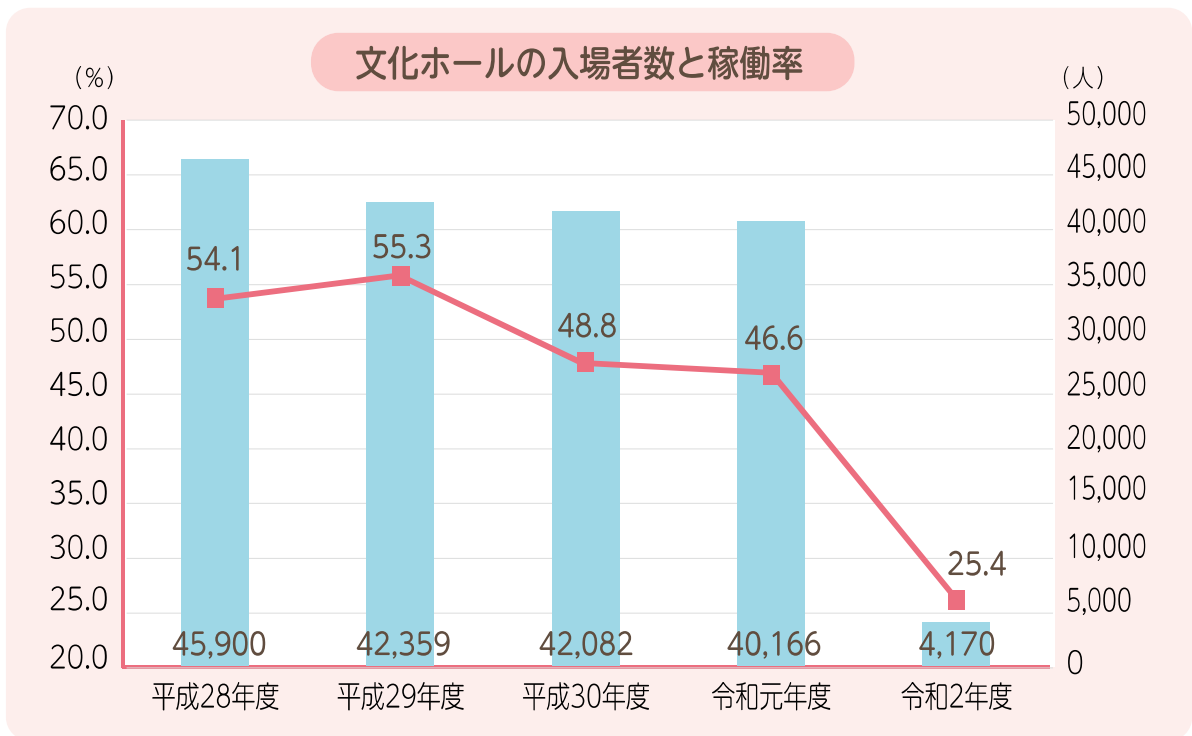
3

郷土の歴史・民俗の伝承、文化・芸術活動の推進



■ 現状と課題

▶本市では新型コロナウイルス感染拡大の影響により、文化芸術活動が停滞しており、また若年層においては方言を話せる割合が減少しています。今後も市民総合文化祭の充実や文化芸術活動に取り組む団体等への支援など、市民の知的関心、要求に応えた文化活動の継続が必要となります。加えて、ウィズコロナ、アフターコロナを見据えた、新しい文化芸術活動の形を検討していくことが必要です。



中学校総合文化祭

■ 施策の基本方針

市民が芸術文化への関心を深めるための活動を推進し、幅広い年齢層の生涯学習活動に対する意識の向上を図ります。

●目標項目●

文化ホール利用者数（年間）

令和元年度※

40,161人

※新型コロナウイルスの影響により
令和元年度で設定



令和8年度

42,200人

●施策一覧●

- ①文化ホールの機能向上など文化拠点施設の充実
- ②社会情勢に応じた芸術文化への支援体制の強化
- ③各地域の方言の保存による伝統文化の継承
- ④市民文化活動への支援による新たな自主事業の促進



市民総合文化祭

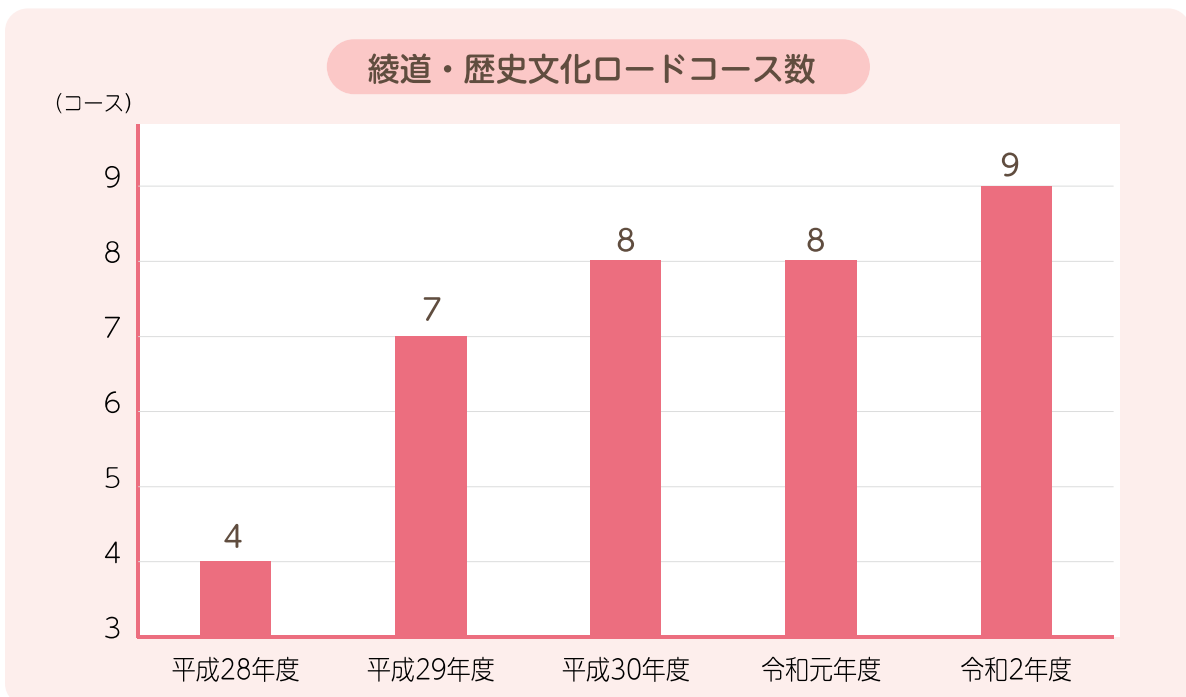


方言大会

■ 現状と課題 2

▶天然記念物である「宮古馬」は絶滅の危機にさらされており、保護対策と積極的な活用が必要です。また、宮古上布は技術者が減少傾向にあり生産拡大に向け人材育成や周知活動に取り組む必要があります。

▶各種文化財の保護・適正管理に努め、市史編さん活動による市民への普及・啓発や魅力発信に取り組む必要があります。



宮古馬



宮古上布の作業風景

用語解説

市史編さん 市の歴史・自然・文化に関する資料を収集整理し、公表する事業
綾道(あやんつ) 文化財を中心とする散策コースなどを紹介する冊子

■ 施策の基本方針

各種文化財の調査研究、保存管理・整備及び伝承者の養成に取り組み、市民の文化財愛護思想の普及・啓発を図ることで、地域の自然、歴史、文化を大切にする心を育みます。

●目標項目●

宮古島市歴史文化資料館利用者数



●施策一覧●

- ①「宮古馬」をはじめとする天然記念物の保護対策の推進
- ②「宮古馬」の繁殖計画や飼育環境の整備等による積極的な保存と活用
- ③宮古上布の技能後継者育成及び宮古上布の魅力発信
- ④歴史と文化の記録保存及び市史編さんによる市民への周知
- ⑤文化財の保存や修復、周辺環境整備による保護・適正管理
- ⑥文化財資料の展示・公開による郷土の歴史・文化への理解促進
- ⑦文化財散策冊子『綾道』を活用した文化財の魅力発信



歴史文化資料館

■ 現状と課題 3

▶宮古島市総合博物館は、市民や観光客の学習の場として広く活用されています。一方で、博物館に求められるニーズは多様化しており、来館者の受け入れ体制拡充や調査研究が必要です。また収蔵資料の活用に向け、収蔵スペースの確保とデジタルアーカイブの構築に向けた公開情報の整理が必要です。



宮古島市総合博物館外観



展示室

用語解説

デジタルアーカイブ 博物館の収蔵品など知的資源をデジタル化し公開すること

■ 施策の基本方針

地域住民の歴史、文化や自然等の学習の場として、博物館の機能拡充や来館者に活用しやすい環境づくりを推進します。

●目標項目●

総合博物館入館者数（年間）

令和元年度※

19,680人

※新型コロナウイルスの影響により
令和元年度で設定



令和8年度

22,000人

●施策一覧●

- ①文化・資料等の後世への伝承に向けた収藏品や展示品の充実や施設の強化
- ②インターネットを活用した情報発信による博物館の利用促進
- ③調査研究や来館者の受入体制拡充へ向けた、人材の育成強化
- ④地域住民の学習の場及び文化活動の拠点となる新市総合博物館（仮称）の建設検討



子ども博物館



社会科見学

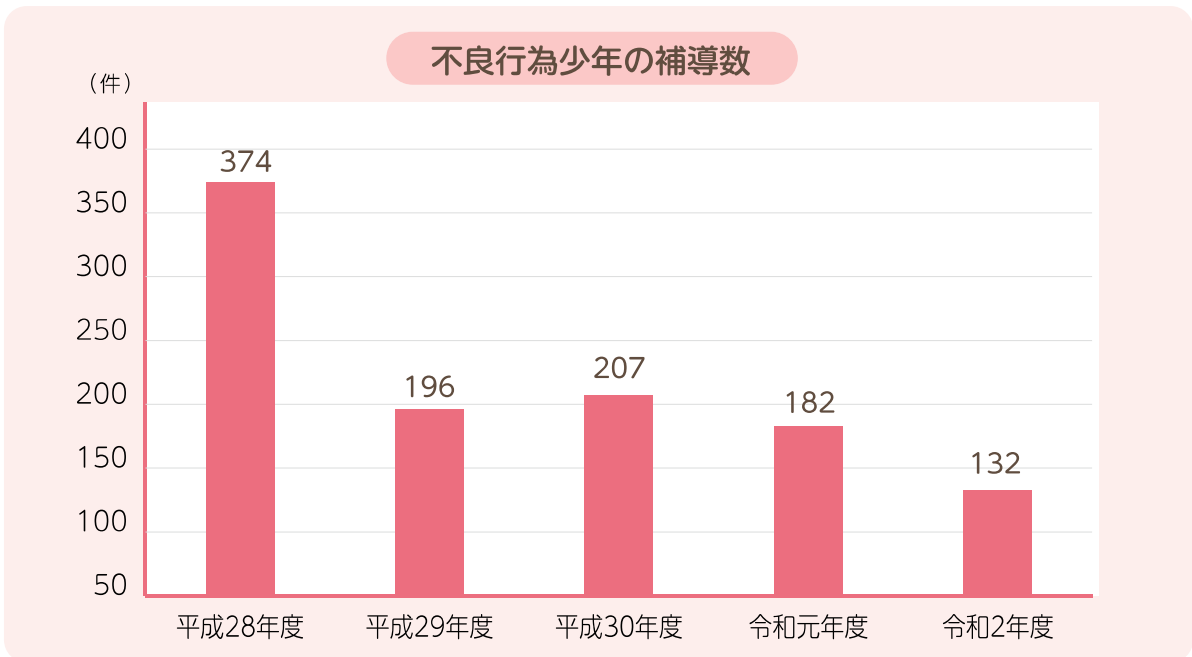
4

家庭・学校・地域社会の連携で進める 青少年健全育成の推進



■ 現状と課題

▶ 青少年の健全育成には、家庭・学校・地域との連携強化が重要であることから、青少年の健全育成に向け、市民の意識向上に取り組んでいます。今後も、いじめ・不登校等の問題行動を減らすため、課題を抱える児童生徒の社会的自立に向けた支援を充実させる必要があります。



全国青少年保護月間 (チラシ)



■ 施策の基本方針

青少年の健全育成を図り、家庭・学校・地域間の情報共有や行動連携の強化に努め、問題行動の未然防止、早期対応、早期解決に取り組めます。

●目標項目●

不良行為少年の補導件数の減少（年間）

令和2年度

132件



令和8年度

100件

●施策一覧●

- ①家庭、地域、学校関係者、行政機関の連携による青少年を取り巻く諸課題の解決
- ②課題を抱える児童生徒の社会的自立に向けた支援の推進
- ③地域の人材を活用した、勉強やスポーツ、文化活動などの様々な体験活動機会の充実
- ④問題行動、いじめ、不登校等の未然防止及び早期発見、対応の体制構築



放課後子ども教室の様子

5

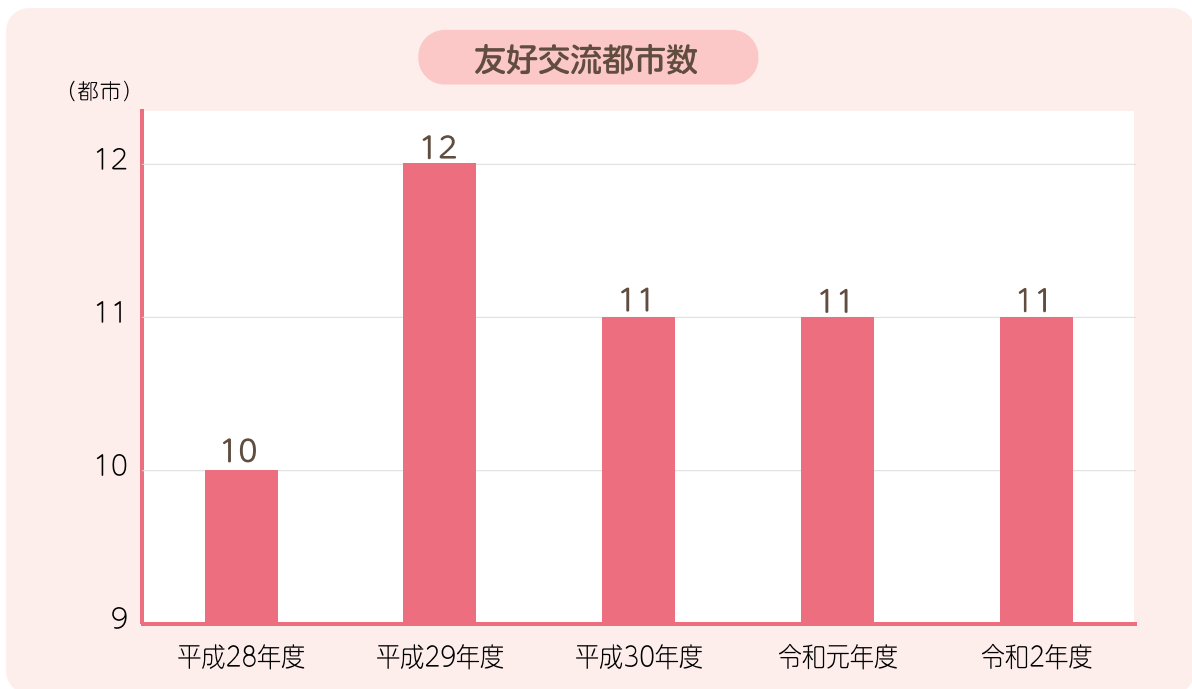
多都市間交流の推進



■ 現状と課題

▶本市では友好都市等との文化的及び経済的交流を促進していますが、定期的に交流が行われている都市と、徐々に交流が薄れてきている都市があることから、今後も本市の活性化に資する多様な交流の推進が必要です。

また国際化に対応した人材育成のため、今後も海外での生活習慣、文化に接する機会を創出する必要があります。



姉妹都市での物産展（新潟県上越市）



■ 施策の基本方針

国際化に対応した人材の育成と交流による人的ネットワークの形成を図るとともに、文化的及び経済的交流の裾野を広げ、本市の活性化に資する多様な交流を推進します。

●目標項目●

友好都市等との交流件数

令和2年度

18件



令和8年度

19件

●施策一覧●

- ① 友好都市等との経済交流による地場産業の活性化及び郷友会をはじめとした人材ネットワークの形成
- ② 各都市との交流推進による多様な文化芸術に触れる機会の創出



ふるさとまつり



宮古島フェア 2020（福島県西会津町）



未来創造センター